

平成 29 年 5 月 24 日

厚生労働省 医政局  
医事課長 武井 貞治 殿

一般社団法人 日本カイロプラクターズ協会  
会長 竹谷内 啓介



## 東京 2020 大会の選手村ポリクリニックでの カイロプラクター派遣協力に関する要望書

冬季バンクーバー、夏季ロンドン、リオデジャネイロのオリンピック・パラリンピック競技大会において選手村ポリクリニック（総合診療所）の医療従事者としてカイロプラクターが世界各国および日本から派遣されました。世界各国の選手がオリンピック・パラリンピック競技大会においてスポーツ医、整形外科医、理学療法士の診療と共にカイロプラクターのケアをスポーツパフォーマンスの向上や健康管理に役立てています。そのため平成 32 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京 2020 大会）でも同様にスポーツ専門の認定カイロプラクターが派遣されるよう当会は計画しております。

当会は国際スポーツカイロプラクティック連盟（FICS）日本代表団体である日本スポーツカイロプラクティック連盟（JFOCS）と協力し、様々な競技大会や災害場所でカイロプラクターのボランティア活動を行っております。東京 2020 大会期間中及び前後には、訪日する多くの選手や関係者、観光客等がカイロプラクティックのケアを希望することが予測されます。彼らの体調管理のニーズを満たすため、また安全面の配慮から適正な教育基準を満たしたカイロプラクターの情報を提供することは東京 2020 大会成功に必須です。

貴省で東京 2020 大会での選手村ポリクリニック診療について協議する際には、ぜひとも貴省に名簿を提出している WHO 指針に準拠した日本カイロプラクティック登録機構（JCR）の登録基準を尊重していただき、ポリクリニックでのカイロプラクター派遣にご協力を賜りますようお願いいたします。また選手村ポリクリニック以外でも、海外からの来訪者に向けた JCR 登録制度の認知へのご尽力を賜りますようお願いいたします。